

平成 29 年 12 月 25 日

タイにおけるサービスアパートメント事業への参入に関するお知らせ
— 東南アジアへ初進出、海外不動産市場へ初挑戦
サービスアパートメント事業初参画 —

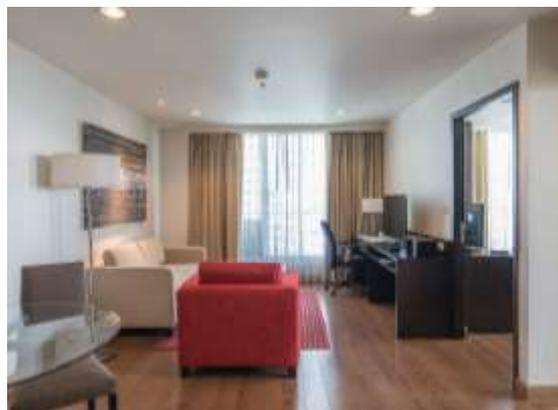
当社グループは、このたび、タイ王国バンコク都の主要エリアの1つであるスクンビット・アソークエリアにおいて、海外における初の不動産事業として、サービスアパートメント（以下、SA）「Somerset Lake Point Bangkok」を取得し、同事業に参入致しましたので、お知らせいたします。

同SAは、バンコクスカイトレイン（BTS：高架鉄道）アソーク駅から徒歩約10分に位置します。バンコク都内各所へのアクセスも良好なことから、安定的な経営状況にあります。今後の市場成長への期待と当社グループがこれまで培ってきた不動産事業運営のノウハウを活かし、更なる価値向上と収益の拡大が可能との判断から、参画を決定いたしました。

また、本事業の実施にあたって、物件所有・運営会社として JR Kyushu Business Development (Thailand) Co., Ltd. を設立しました。本物件を皮切りに、「JR九州グループ中期経営計画 2016-2018」で掲げる3つの重点戦略の1つである「新たな事業と九州外エリアへの挑戦」を東南アジアのマーケットにおいても実践していきます。

■ 施設概要

名 称	Somerset Lake Point Bangkok（サマセツトレイクポイントバンコク）
構造・規模	TowerA：鉄筋コンクリート造 地上 32 階建 TowerB：鉄筋コンクリート造 地上 27 階建
客 室 数	429 室
取 得 日	平成 29 年 12 月 20 日（水）
所有運営会社	JR Kyushu Business Development (Thailand) Co., Ltd. （タイ JR 九州ビジネスディベロップメント株式会社）



■Somerset Lake Point Bangkokの詳細

所在地	41 Sukhumvit 16, Sukhumvit Road, Klongtoey, Bangkok 10110 Thailand BTS アソーク駅より徒歩約10分
敷地面積	約5,200㎡
構造・規模	TowerA：鉄筋コンクリート造 地上32階建 TowerB：鉄筋コンクリート造 地上27階建
客室数	429室（TowerA：230戸、TowerB：199戸）
延床面積	約51,000㎡
築年	平成11年（築18年）※TowerBは平成26年にリニューアル
共用施設	屋外プール、フィットネスセンター、レストラン、ほか
仲介者	森ビル不動産投資顧問株式会社

■タイ JR 九州ビジネスディベロップメント株式会社の概要

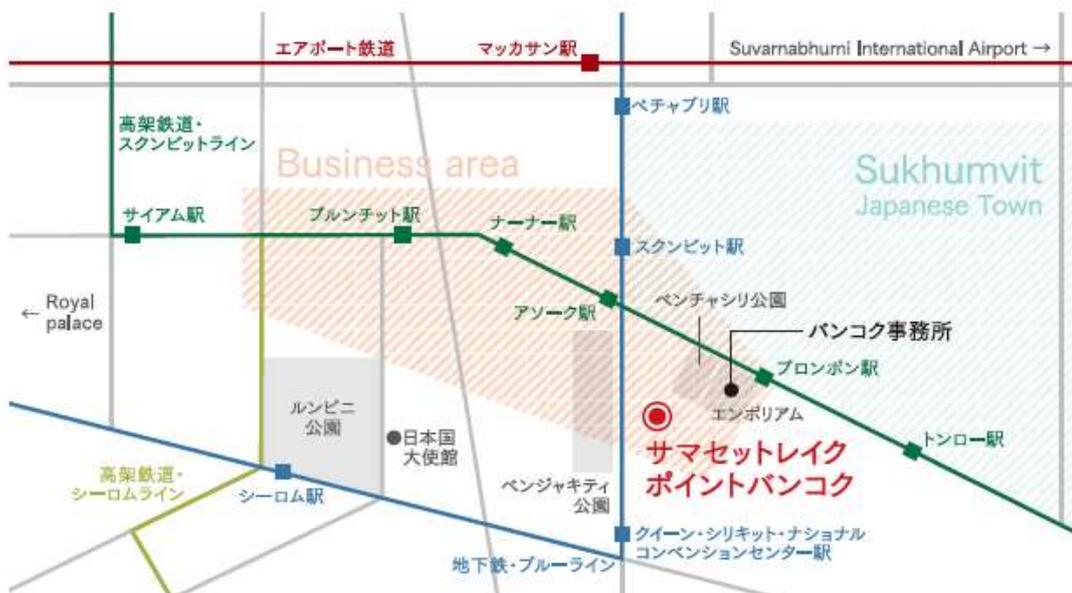
名称	JR Kyushu Business Development (Thailand) Co., Ltd. タイ JR 九州ビジネスディベロップメント株式会社
所在地	タイ王国バンコク都
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長井 信市朗
事業内容	賃貸用不動産の経営等
資本金	375百万THB（1THB=3.4円の場合、約12億7500万円）
設立年月日	平成29年11月20日
出資比率	九州旅客鉄道株式会社 49% JR Kyushu Capital Management (Thailand) Co., Ltd 49% その他少数株主 2%

■タイ JR 九州キャピタルマネジメント株式会社の概要

名称	JR Kyushu Capital Management (Thailand) Co., Ltd. タイ JR 九州キャピタルマネジメント株式会社
所在地	タイ王国バンコク都
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 津高 守
事業内容	不動産事業への出資等
資本金	125百万THB（1THB=3.4円の場合、約4億2500万円）
設立年月日	平成29年11月8日
出資比率	九州旅客鉄道株式会社 49% Ch. Karnchang - Tokyu Construction Co., Ltd. 17% Thai Konoike Corporation Ltd. 17% Thai Nishimatsu Construction Co., Ltd. 17%

■立地

- ・本物件から徒歩約10分のアソーク駅周辺は、大規模な商業施設や高層ビル、多数のショップ・飲食店が立ち並ぶバンコクの中心地の1つ
- ・日本人居住エリアであるスクンビット地区も近く、同地区へのアクセスが容易
- ・BTS アソーク駅に加えて地下鉄スクンビット駅も徒歩圏内にあり、交通利便性に優れた立地



※サービスアパートメントとは

- ・家具家電、食器等の生活用品が備えられ、室内清掃等のサービスが提供される宿泊滞在施設
- ・観光客が長期で滞在する用途のほか、駐在員等ビジネスマンが住居として利用することが可能

■施設外観



■アプローチ



■室内



■共用プール



■フィットネス

